

校長室だより

岸和田市立東葛城小学校 校長 西村好恵

H25. 10. 16
No. 5

学校行事でなにが育つか

地域のお祭りも終わり、いよいよ秋本番。運動会は目前です。一週間毎に入ってくる台風の予報。お天気の神様、どうぞ今週は雨を降らせないでください・・・と祈りたいような気分です。

運動会に向けて、子ども達は最後の調整に入っています。「声が小さい!」「もっとやれる!」と注意されながらも一生懸命頑張る子ども達の姿には、感動さえ覚えます。当日は、そんな感動をおうちの方や地域の方にも味わって頂けると嬉しいです。

さて、今回は少しかたいお話を。

学校では国語や算数などいわゆる教科の知識を学びます。知識を学ぶだけなら学校でなくてもできます。では、学校が教科等の「勉強」の他に子ども達に学ばせるものは何でしょうか。それは同じ教室で友達とともに過ごすことで、好ましい人間関係を築くこと・自分の良さや友達の良さを見いださせること・男女の違いや良さを見だし、協力する態度・社会のルールを守ること(学校は小さな社会です)・正義や責任について考えること・伝統や文化を尊重すること・生命を尊ぶこと・働くこと等を学ばせることです。書き並べてみると堅苦しいことのようにですが、毎日の学校生活の中で子ども達は着実にこれらのことを学んでいます。

そこで、運動会を例に挙げてみましょう。

運動会は、日頃の体育の学習の発表です。でも、体育だけにとどまりません。リレーにしても表現(ダンス)にしても、友達と心と力を合わせなければ自分の満足感を得ることも、人を感動させることもできません。できないことがあっても、友達の励ましを受けて頑張る・友達の成功を自分の事のように喜ぶ姿・一生懸命、歯を食いしばる姿に子ども達の豊かな成長が見えるのです。また、高学年には本校ならではの仕事があります。仕事を通して、自分がみんなの役に立っていることや責任を実感します。

他にも学校行事はたくさんあります。それぞれの行事の目標は違いますが、行事をこなすことで、子ども達は一回りも二回りも大きくなります。その育ちを楽しみに、私たちは、時には褒めちぎり、時には叱り、時には励まして子ども達を指導しています。



白組、10倍がえした!



今年も優勝だ〜!

運動会

1年生：はじめての運動会
6年生：最後の運動会



がんばるぞ!

「去年、赤組は優勝した。今年も・・・」
波に乗れるように応援します。

赤組 応援団長 藤裏純規さん

6年生

- ・応援団長として、みんなを引っ張って行く。手と足をピーンとして南中ソーランをする。(純規)
- ・南中ソーランをきれいにみせるために、みんなに合うように努力する。(茜音)
- ・南中ソーランを最後まできれいに、大きな声を出してがんばる。(啓輔)
- ・最後の運動会!南中ソーランを細かいところまできれいに決めたい。(結菜)
- ・南中ソーランで元気よくみんなにおくれないようにがんばる。(そわか)
- ・南中ソーランと三段塔をきれいにきっちりおどる。リレーで、みんなの力をひとつにしてバトンパスをバトンゾーンぎりぎりにわたす。(遥)

1年生

- ・大だまころがし 勝ちたい。(おと)
- ・つなひきでしろぐみにぜったい勝ちたい。(そうた)
- ・大だまでコーンをたおさないでころがしたい。(ゆうま)
- ・つなひきをがんばる。(かつなり)

「みんなでがんばる!」

みんな(全体)があってひとりひとりがあるのでなく、ひとりひとりのがんばりが、「みんなで

がんばる」ことにつながるのです。だから、「自分が・・・」という気持ちがとても大切なのです。

さわやかな気候と、さわやかな子ども達の活躍、おうちの方の熱い応援・・・そんな1日になりますように。保護者の皆様には、学校からのお願いをきいていただきますように。

「運動会 マナーを添えて 応援だ」



「去年、白組は負けてしまった。しかし・・・」
で始まる白組応援。ことしこそは・・・そんな意気込みで応援します。

白組 応援団長 溝端恵吾さん

6年生

- ・三段塔の一番上に落ちないように確実に乗る。今年こそ100メートル走で1位をとる。(恵吾)
- ・副団長になったから、団長を支えてみんなを引っ張って行く。(昌寿)
- ・南中ソーランを最後まで元気にみんなと気を合わせておどる。(悠里)
- ・個人走で、1回も1位を取ったことがないので、今年は1位になりたい。(皓己)
- ・今年は「個人走」と「リレー」でぜったい1位をとる。(麻由子)
- ・組み体と南中ソーランをがんばりたい。(綾)

1年生

- ・おどりがじょうずになりたい。(まな)
- ・白い大だまをじょうずにころがしたい。(れつき)
- ・40めえとるそう がんばりたい。(しゅうと)
- ・40メートルそう ぜったい勝ちたい。(ゆうき)
- ・たまいれのたまをいっぱいいれたい。(きらり)